



広報 もりよし

編集発行・森吉町役場企画開発課

印刷所・米内沢中央印刷所



ふるさとを見直そう
シリーズ No.8

梵鐘ほんしやう再現なる竜 竜渚寺

私たちが「お寺の鐘つき堂の鐘」から受けるイメージは、「タヤケゴヤケ」などのわらべ歌、そして「ふるさと」ではないでしょう

か。しかし、ふるさとは鐘がありません。米内沢竜渚

寺には昭和十八年までありましたが、それがこの年、戦争のために供出させられてしまい、以来、落ち着いたふんいきをかもしたず、昼の鐘、夕べの鐘は絶えてしまったのです。

その鐘がいま再建されま

した。今年には竜渚寺開創三百五十年、前身である真言宗の安昌寺開基四百年にあたり、記念事業として取り上げられたのです。これには一千万円を超える浄財が集りました。

さて、昔からこの種の事業には職人の精魂がこめられるといわれます。この度もその例に漏れませんが、設計者の経験不足も手伝って工事請負者の松橋賢一郎さんと棟梁の加賀貞雄さんは大難儀、本を探し求めたり、遠くの寺に向いたり、「幾晩もそのことばかり考えて苦しかった」とは二人の弁。

屋根に銅板を張ったのは羽弥太郎さん。この方は上方で経験を積んでいるものの、後世も笑われぬものというわけで、一週間でできることを、他の仕事を投げやって一か月以上もかかりきり、そのため完成が大幅に遅れる始末。

こうして着工以来半年、ふりてようやく完成をみたのです。

間もなく除夜です。今年にはテレビではなく、本物の百八つの音を心ゆくまで味わうことができます。

住民登録人口

昭和50年11月末現在人口	
男	5,486(-3)
女	5,972(-9)
計	11,458(-12)
世帯数	2,778(-1)

米内沢橋・小又大橋 晴天天下 盛大に渡り初め

両橋の渡り初め式は、去る十一月二十八日、盛大に挙行されました。

この日は、前日が悪天候であったこと、予報も雨であったことなどにより、天候が一番心配されましたが、一夜明けると嘘のような小春日より。

小又大橋は、午前十一時から予定どおり約三百名が前方の森吉山を眺めながら渡り初めを行いました。

また、沿道には、小又大橋や阿仁前田地区のお母さん、おばあさんが子供連れで集まり、旗をふってこれをお祝いしました。

米内沢橋は、小又大橋のあと、正午から行なわれまじり、当日は早々と本城や支那のばあさんたちが集まって来て、大判焼きなどをほおばりながら待ちかまえているなど、時間が近づくと、夏の花火大会のときのように、町が空になるくらいの人数がつめよせ、主催者の身動きが容易にとれない。



1,000名以上が参加した米内沢橋の渡り初め

なる始末。

テープカットと同時に、のろしが打ち上げられるとわあっとどよめきの声があり、中には目頭をおさえている方も見受けられました。

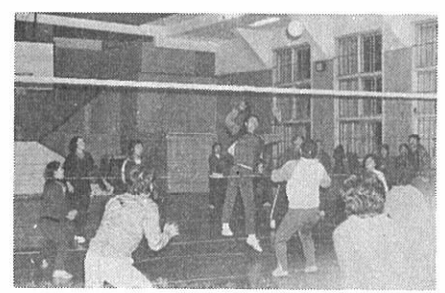
夫婦バレー大盛會 優勝は五味堀チーム

前田地区夫婦バレー・ボール大会は今日一日から五日まで毎晩七時から九時まで森中前田校舎体育館で行なわれ、五味堀チームが優勝しました。

この大会には七チームが参加、一チームは四夫婦八人編成でリーグ戦、初めはこのチームも経験不足で凡プレー、しかし、経過するうちに意外と上達、応援団も連夜ぎっしり詰めかけて大声援、家庭バレー・ボール以上の大盛會でした。

(成績次のとおり)

優勝	五味堀チーム	6勝
二位	新屋布B	5勝
三位	鍛冶町	4勝
四位	八幡森	3勝
五位	通り町	2勝
六位	新屋敷A	1勝



決勝戦 五味堀チーム対新屋敷Bチーム

渡り初めは、三代夫婦を先頭に、主催者、来賓のほか、米内沢小学校全生徒、保育所幼児と千名を超え、まさに歴史的行事の感がありました。

感激をかみしめていた見物の方々はこの日が終わっても去りがたく、やがて思い思いに渡り初めを行なっていました。



根小屋 武石篤正

七位 桂坂チーム 0勝
なお、桂坂チームは全敗に終わりましたが、これはメソバのほとんどが初めてボールを手にしたためであり、この次は必ず優勝するといきまいていました。

アメリカの普及事業を研修して

前田地区の体育指導委員(四名) 提唱による壮年バレー・ボールは、去る十一月三十日、森中前田校舎で行なわれました。

当日は六チーム約六十名が参加、準備体操ののち直ちにリーグ戦に入り、最終が、終始珍プレーが続出、和気あいあいの中に全七チームを終了しました。

「稲十a 当り労働時間四十分、収量五五〇kg」

三、恵まれた気候と灌漑農業の発達(四月末から九月末まで雨はほとんど降らず、強い太陽光線に恵まれ、幹線水路の整備がすすんでいる)

四、生産組合、請負会社の発達。

五、有能な経営者などをあげることができるといいます。

独立宣言以来二百年足らずのアメリカが、豊かな資源と恵まれた気候、高度に発達した技術とあいまってそれらを支えている不屈の開拓精神、自由社会を築き、さらに、社会生活を秩序づけた全市民的ボランティア活動を定着させたことが世界一の農業を実現した要因であることを思うと胸中どよめきを覚えてなりません。

昭和51年元旦、倉の山初登山にご参加下さい。(5時30分米内沢公民館前出発) 倉の山・二本松自然保護會

国道バイパスなど 十項目を要望

知事町村訪問

知事による市町村訪問は三年前から行なわれていますが、今年は去る十一月十八日午前十時半からみたけ荘で行なわれました。

県側からは知事のほか各部課長、出先機関所長等が出席。町側からは町長ほか役場課長以上、議長、各常任委員長、農業委員長、教育委員長、部落代表、各種団体長等が出席しました。

当日は、町がかねて要望していた事項について、先ず部課長が答弁し、知事がこれに補足説明を加えました。

大要は次のとおりです。

▽ 国道一〇五号線に米内沢バイパス、前田バイパスを新設したい。

▽ 県代行町道改良事業として石坂大洲線、摩当沢線の改良工事を促進されたい。

▽ 石坂大洲線は今年度六百万円で補償関係より着手す

るが、更に事業費の増額を建設省に要望し、早期完成を促進する。

▽ 摩当沢線は、現在県代行とすることができないので、町施工による補助事業として建設省へ要望したい。

▽ 県道桂瀬笹館線の全線開通を促進されたい。

現在、阿仁合線との立体交差地点を工事中であり、



要望事項に答える小畑知事(左端)

早期開通について努力する。

▽ 県道小滝阿仁前田停車場線から比内町大葛を結ぶ路線を県道とされたい。

〔答弁〕
現況では認定基準に合わないので無理であるが、観光開発の面から重要であるため、国と協議してその整備に努力したい。

▽ 阿仁前田向川原右岸と平里小又川左岸の河川改良工事を促進されたい。

〔答弁〕
来年度に向川原内は九〇〇米、小又川は巻洲から五〇〇米、平里から七〇〇米をかき上げたい。

▽ 広域観光道路として森吉山、玉川間に自動車道を開設されたい。

〔答弁〕
この地域は自然保護の特別地域に指定されているため、環境庁の許可が得られないので歩道の整備を図りたい。

▽ 鶴田農工団地に無公害の男子型企業を導入されたい。

〔答弁〕
県でも東京で探歩いていますが、現在はある工場も潰れるなど小休止の状態であり、景気回復が待たれる。

▽ 林道萱ノ戸沢線を早期に大巾改良されたい。

〔答弁〕
本線は年々利用量が増大しているため、落石等損壊の大きい比内側より年次的に舗装整備したい。

▽ 公立米内沢総合病院新築に対し低利融資等特段の指導援助を願いたい。

〔答弁〕
制度内での協力と起債しかできない。今は県自体が財政的に入院しなければならぬ状態であり、病院への建設補助は出せない。基幹病院設備補助は出すが、やはり特別事情は特別交付金に見込んでもらうようにしなければならぬと思う。

▽ 当町に県営の軽費老人ホームを設置されたい。

「もう少し多くかけ金を納めてもいいから、もっと高い年金をもらいたい」という要望にこたえて設けられたのがこの制度です。

付加年金は、定額分のかけ金(月一、一〇〇円)のほか月に四〇〇円を納めます。そして二年でもとがとれてしまいます。

加入できる人
国民年金の加入者で、かけ金の免除を受けている方と、五年年金加入者以外の人であれば誰でも加入できます。農業者年金に加入している方は加入が義務づけられています。

△△△ △△△△
△△△△△

昭和50年
10大ニュース

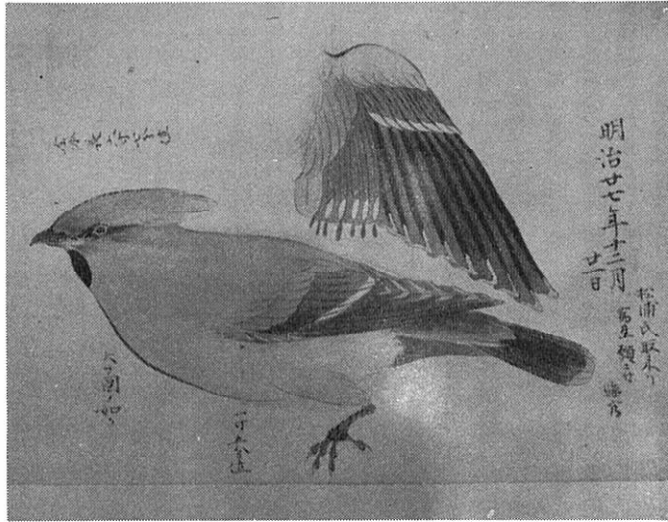
一位は豪雨被害
昭和五十年の森吉町十太ニュースについて、このほど役場内でアンケートを行なったところ左記のような結果が出ました。

一位 集中豪雨で大被害完成
二位 米内沢橋・小又大橋完成
三位 米小、前小、浦小百年。米高三十周年
四位 スポーツ面で大活躍(庄司孝子さんフェンシング高校日本一金為さん国際高齢者マラソン参加など)
五位 みたけ荘完成
六位 中央駐車場完成
七位 花火大会
八位 根小屋呼友会全国農業コンクール優秀賞
九位 米内沢郵便局舎完成
十位 竜洲寺にぼん鐘復活

郷土博物館

③ 庄司穂軒

穂軒(本名信一郎)は一八六三年に名門庄司家に生まれ、十七才のとき、隣家の、こちらも庄司家出身の俳豪唖風の養子になりました。小さい時から絵が好きで、久保田(秋田)の画塾に入っています。



穂軒画譜より 写生画

平福穂庵が庄司家に食客として長期滞在していたときには弟子入りをし非常に多くを学んでいます。穂軒画譜の大半が穂庵の写しであることでもそれが知られます。

穂軒はまもなく県内でも名の知られた画家になり弟子(河田駒雄氏)もつきましたが、生活に困るといっわけではなし、ひたすら腕をみがくだけで、中央のコンクールには出品しませんでした。しかし、強力にすゝめる人もあつて、ようやく重い腰を上げて得意の西湖(中国の風景)を描き上げました。ところが、あまり出来がよいので大館の某

氏に無理やりにとられてしまいました。これは現在ゆくえが知れていません。

傑作の中には、前田の馬市を描いた大幅があり、これは森吉町としては貴重な文化財となるものですが、持主の鷹巣町の河田家が火事にあい焼けてしまいました。しかし、下絵は前田のどこかに現存しているといわれています。(お持ちの方は企画課町史係にご連絡下さい)

穂軒はほかに鯉や蓬萊山水を得意としており、てん刻(印鑑と硯の製作)にも一家を成していました。それらの作品は今全県に散らばっています。

郵便物は

お早めに!

(局からのお願い)

今月は郵便物が急にふえ十五日からは年間取扱量の20%にあたる年賀はがきの取扱いが始まります。

局ではこれを二週間から三週間で処理しなければならぬ最繁忙期を迎えることとなります。

年賀状は二十日までに、小包は十五日までにお出し下さい。

なお、郵便番号は正しくお書き下さい。

「秋元文書」発行 町史史料編第一集

町史編さん事業は、去る四十八年度から開始されていきましたが、この度、ようやく史料編第一集「秋元文書」が発行されました。これは、本城の秋元秀二氏に代々伝わる古文書の中から、特に本城部落関係を抄録したものです。同文書には、他に、鹿角関係、阿仁部関係などがありますがそれらは「文書2」としていづれ発行の予定です。

ご希望の方は役場企画課に一冊につき千円を添えてお申し込み下さい。

町外の方の場合は一冊千五百円(実費)に一四五円の送料が必要です。史料編は、引き続き「金

◆ 図画で入選

保育所幼児2名

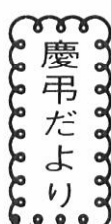
米内沢保育所では、たけいしけいじくんときたばやしちかこさん(どちらも米小一年)が入所時にかいた図画作品を全国児童生徒作品コンクール秋田県の部に出品したところ何れも入選となり、このほど賞状と記念品がおくられてきました。

家文書」「小作争議日記・付裁判記録」などが予定されています。

- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆
- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆
- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆
- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆
- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆
- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆
- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆
- ☆☆☆☆善意☆☆☆☆

香典返しに代えて

- 三〇、〇〇〇円 本城 秋元 義朗
- 三〇、〇〇〇円 病院通 北林市之丞
- 二〇、〇〇〇円 病院通 細田 栄悦
- 一〇、〇〇〇円 川向 金 新蔵
- 一〇、〇〇〇円 七曲 本間 徳治
- 拾得金
- 一、〇四〇円 大町 金田 一雄



誕生おめでとう

- 金沢妃都美(義男)七曲
- 奥田 博康(博昭)浦田
- 庄司 優(馨)浦田
- 奥山 真行(芳寿)本城
- 米沢 隆広(長広)駅前

結婚おめでとう

- 相馬 文夫 鷹巣町
- 松浦ツナ子 平里
- 仙台 進 鹿角市
- 大川 良子 小滝
- 天道 正則 通り町
- 柚 広子 湯の岱
- 播磨 幸一 森吉
- 森合 房子 秋田市
- 三浦 清治 横浜市
- 播磨 京子 森吉
- 田牧 勝之 大杉
- 藤島 勝江 下前田
- 鈴木 一 日栄
- 薄井フサ子 鷹巣町
- 佐々木誠光 鷹巣町
- 佐藤 敦子 駅前
- 加藤 サト(87) 平里
- 鈴木 ヨシ(81) 向本城
- 北林 永次(73) 新丁
- 平沢 才(83) 浦田
- 細田 栄治(59) 新丁
- 玉造卵之松(54) 浦田
- 佐藤 留蔵(59) 大杉
- 北林 トク(89) 大町
- 金 勇太郎(75) 本城

税金は強調月周中に
納めましょう
滞納整理強調月周
12月1日~25日